

広報版「防災きこない」 ～ご家庭でできる停電への備え～

地震や暴風雪などの自然災害では、大規模な停電が発生することがあります。北海道では「平成30年北海道胆振東部地震」や今年1月には石川県能登地方を震源とした「令和6年能登半島地震」による長期間の大規模停電が発生し、石川県内では1月10日時点でいまだ停電が解消されていない状況となっています。

日常生活で多くの電化製品を使用している私たちにとって、停電時の電力の確保は大きな課題です。特に災害時には、安否確認や災害情報を入手する手段としてスマートフォンやテレビのほか、季節によっては熱中症や防寒対策のための冷暖房器具の使用に電力の確保が必要となります。

また、自家用車があれば、テレビやラジオでの情報収集、スマートフォンの充電ができるほか、エアコンでの暑さ寒さ対策も可能です。燃料が半分程度になったら、早めの給油を心掛けましょう。

災害の状況によっては停電の復旧までに時間がかかることも想定されますので、平時からご家庭における停電対策の検討をお願いします。

災害はいつ起こるか分かりません。日頃からの備えを大切にし、万が一災害が発生した場合にも落ち着いて行動できるよう準備をしておきましょう。

○停電に備えて用意しておくもの

- ・携帯ラジオ
- ・懐中電灯・ろうそく・ランタン
- ・カセットコンロ・ガスボンベ
- ・ポータブルストーブ（電池式）
- ・乾電池
- ・携帯電話用モバイルバッテリー
- ・季節に応じた対策グッズ（防寒具・毛布等）
- ・非常食・飲料水 等

※詳しくはハザードマップ11ページ「非常持出品・非常備蓄品を備えよう」をご参照下さい。

ごみの減量にご協力ください ～生ごみ編～

家庭から出る生ごみの約80%は水分と言われています。生ごみを減らすことで、ごみの重量が減少します。また、ごみに含まれる水分が減ることで、ごみ焼却場の燃焼効率が向上し、焼却費用や二酸化炭素排出の抑制にもつながります。生ごみの減量化には様々な方法がありますので、取り組みやすいものから始めてみましょう。

○生ごみが出ないように心がけましょう

買い物に行く前に冷蔵庫の中身をチェックし、必要な分だけ買うように心がけましょう。また、買った食材は適切に保存し、残さず使い切りましょう。

適量を把握して料理を作り、当日に食べきれなくても次の日に食べきるようにしましょう。

○水に濡らさないようにしましょう

三角コーナーを蛇口から離れた場所に置き、水がかからないようにしましょう。また、野菜の皮むきは洗う前に行い、皮は濡れないようにして捨てましょう。

○水切りをしましょう

濡れた生ごみは、ひと絞りしてからごみとして出しましょう。また、新聞紙の上などに広げ、いったん乾かしてからごみとして出す方法も効果的です。

水切りすると嫌なにおいが減り、ごみの重さが減ってごみ出しも楽になります。

■お問い合わせ 町民課住民グループ

☎01392-2-3131

家族葬ホール翼

365日 24時間対応
ホール使用料税込88,000円～
各種カードご利用いただけます。

葬儀社様問わずご利用いただけます。

ベルコ互助会員様ホールご利用例有。

〒049-0422 上磯郡木古内町字本町678番地5

TEL 01392-6-7790 FAX 01392-6-7789

ホームページ <http://sora-tsubasa.jp>

有料広告